

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年

7月

143号



宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行
しゅうぜんぎょう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁
たなか ひでひと

何があっても責任を他に転嫁てんかすることはできない。自分が歩んできた善悪の種まきが答えとして出てくるのである。よく怒った人には交通事故や思わぬ災難が起きるでしょう。不平不満であった人には病気が起こるでしょう。欲深だった人には金に困ることが起きるでしょう。

聖人君子でない限り満点の人は一人もいないはずである。「怒りは不幸の引き金」である。たとえ手落ちがあっても怒らぬことに徹すれば、大難は小難で守られる。年末の続きが年始であり、今日の続きが明日である。今日こそ怒ってはならぬ。笑顔の一日を送らねばならぬ。言葉の一つも物の一つも施そう。この心構えで毎日を送れば、希望の人生が誰でも迎えられる。
(真実に生きる63号より)

ぶし真教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと

◇すべては仏になるための計らい

涅槃経ねはんぎょうの一節に「一切衆生いっさいしゅじょう、悉有仏性しつうぶつじょう」という一節があります。

直訳すれば、「全ての生きとし生くるものは、仏性即ち、仏になる可能性を有している」という意味です。

道元禅師は「すべての存在は仏さまの悟りそのものである」と解釈しました。つまり、人間でいえば髪の毛も爪も手も足も、その人の一部であり、その人そのものであるように、すべての存在や出来事、善いことも一見悪いことと思えることもすべて仏さまの一部であり、仏さまそのものだと思えることが正しい悟りなのです。

簡単に言えば、世の中や自分に起こるすべての出来事は、私たちを仏さまと同じ境涯きょうがいに導くための「仏さまの計らい」なのです。毎日の生活や人生そのものがすっぱりそのまま「仏さまのお慈悲の懐ふとしろにいだかれている」のです。そう受け止め、ありのままが有り難いと感謝できた時が仏さまの境涯なのです。

◇悪念悪言は自分を傷つける

しかし、教えのない凡夫ほんぶや教えの浅い人は、自分にとって都合の悪いことは「仏さまの計らい」とは受け止められず、相手を責める悪い想いを持つたり、言葉でもって相手を攻撃し、さも自分が正しい、自分が勝つたと錯覚しますが、本当は悪念と悪言はブーメランのように戻ってきて最後は自分が傷つきます。反対に相手を許し感謝の言葉を掛けることができれば、幸せが舞い込めます。これが真理です。

かつて大阪に緒方静子さんという五十代の独身女性がおられました。ご信者さんの紹介で、開祖さまが入院中の病院へ拝みに行かれ、相談を受けられました。全身の皮膚が化膿し膿血うみちが流れ、髪の毛はもちろんのこと、眉毛もまつ毛も手足の爪も抜け落ち大変な病状の中、二人のお姉さんが心配そうに付き添って看病しておられました。医者は様々な治療の手を尽くしましたが、原因不明で治る見込みがないのだそうです。

「いくつもの宗教を尋ね、いろいろな病院にもかかりましたが、一向に良くなりません。先生、私は治ることができるとはでしょうか。」

「大丈夫です。法華經の教えはよみがえる教えです。病気は気から、あなたの心の間違いに気付き、心から懺悔し、仏さまのものの見方に切り変えることができればきつと治ります。」

「先生、何故こんな恐ろしい病気になったのでしょうか？私の心の何が間違っていたのでしょうか教えて下さい。」

「単刀直入に申し上げます。全身が腐り、膿血が流れるということは、あなたは大切な肉親縁者を恨んでいるのが原因です。心当たりはありませんか。」

「肉親縁者を恨んでいると言われれば、確かにあります。今ここにいる二人の姉と亡き両親のことを恨んでいます。許すことはできません。」

「こんなに一生懸命看病してくれる姉さんたちと、亡きご両親のことが何故許せないのですか」

「緒方家は両親と三人姉妹の五人家族でした。姉たちは年頃が来たらそれぞれに結婚し、子供にも恵まれ幸せな家庭を築きました。残された私が成り行き上あんちく暗黙の裡うちに後取りという状況になり、親も私を頼っていました。私は普通のお勤めでは両親を養うことはできないと思い、借金をして小さなお茶漬け屋を

はじめ、一生懸命働きました。やがて父が亡くなり、母も亡くなり、ふと気が付くと結婚適齢期もはるかに過ぎ、私一人が取り残されてしまったのです。

なぜ自分だけが、こんな苦勞をして寂しい人生を送らなければならぬのか、何のための人生だったのかと思うと、亡き両親が許せませんし、私の犠牲の上に幸せな家庭を築いている二人の姉が恨めるのです。これが私の偽らざる気持ちです。」

「あなたの心情はよくわかりました。しかし、理由の如何を問わず、親を恨んだり、姉たちを恨んでいることが大きな間違いです。悪念と悪言は他を傷つけず、ただ己のみ傷つくというのが真理です。恨み骨髄に達するという言葉があります。あなたは折角最後まで両親の面倒を見るといふ善いことをしながら、ちよつとした考え間違いから「憎さ百倍」の怒りをもって肉親を心の底から恨み憎しんだ業が病氣の原因です。

親もあなたを不幸にしようと思つて頼りにした訳ではありませんよ。きつと『申し訳ない済まなかった。おまえにも幸せになつてもらいたい』という思いで見守つていると思いますよ。ここにいる姉さんたちも同じです。うつる病氣

ではないといつても、全身から膿血が流れる病人を毎日誠心誠意看病して下さいるのはあなたのことを思えばこそ、姉妹だからこそですよ。」

「先生、よくわかりました。本当にこの病気は治りますか。どうすれば良くなるか教えて下さい。」

「妙法の教えの通りに行えば必ず治ります。次の三つのことをしっかりと実行して下さい。」

①子供の幸せを願わない親はいません。両親の深い思いを汲まずに恨んだことを懺悔し、生み育てて下さったことに心から感謝し、守って頂けるように祈ること。きっと親は全力で守って下さいます。

②姉たちの幸せを逆恨みしていたことを懺悔し、こんなに献身的に毎日看病してくれる二人の姉がある『私は幸せ者である』と心から感謝し後姿を拝み、「面倒見てくれてありがとう」と声掛けをすること。

③自分より若い大学を出た立派なお医者さんや看護婦さんが、こんな恐ろしい病気の患者を誠意をもって診て下さることに感謝し拝むこと。

今日から実行すれば今日から治り始めます。毎月大阪布教に来たときに拝み

に来ますから、勇気をもって頑張りましょう」

恨む心も強いけれども、心を切り替える力も強かったこのご婦人は、長年の恨みや憎しみを「あつさり、すつきり、さつぱり」と切り換えられ、実践されました。その結果、瞬く間に健康を回復され、半年ほどの間で全快されたのです。この事実を見る時「世の中には自分が蒔いた種が芽生る。蒔いた種は自分が刈り取らねばならない」という妙法の真理がはつきりと証明されたのです。

人生には「なぜ自分だけがこんな苦労を背負わされるのか」と思えるようなことが多々あります。それは仏さまが与えて下さった幸せの昇級試験であり宝くじです。せつかくの仏さまからの昇級試験を逃げたり避けては損です。しっかりと受けて立ち、やった者勝ちです。合格すれば想像以上の幸せがやって来ます。宝くじでも最初に当たりくじを引けば、残りはずは外ればかりです。分ぶの悪い外れくじをすべて引いてしまえば、残りは一等賞が必ず当たります。この真理が解れば勇気が湧きます。信じる者こそ救われるのです。信仰に近道はありません。毎日しっかりとお経を上げ、法話をたくさん聞き、縁ある人に教えを伝え、お導きをすることによって教えがより信じられるようになるのです。

今月の運勢（8月）

（2017年8月7日～9月6日）

一 白水星

最高潮の時を迎えているが、騒がず有頂天にならぬよう何事も慎重に行い最後の仕上げをしつかりとすること。

陰日向なく一貫性と誰に対しても差別せず温かく包み込む姿勢が大切。

二 黒土星

行動的に動くことよりドンと構えて動かさず、全体の情勢を見究めよう。ここ数か月の総仕上げの時に備えて力を蓄えよう。周囲から注視されているので行動は控えることにすること。

三 碧木星

勇壮活発で物事が強い

力で動いていく。勢いが盛んなので乱暴にならないよう自らを戒め

己に勝つことが真の強さである。上位者の助言を参考にして正道を外さなければ前途は洋々である。

四 緑木星

相手との信頼関係が整えば互いに悦び従うことができる。私心を捨て任せれば答えが出る。中心に信があれば、危険な冒険も勝負しやすい。一貫した誠実さで進めば福がもたらされる。

五 黄土星

変化の時を迎えている。目の前の大きな山

を越える方法は、まっすぐ登り峰を越える。

トンネルを掘って進む。山に沿って回り込む。いずれにしても強引な行動は思わぬ失敗を招くので要注意。

六 白金星

志を同じくする者と協力して進めば願いは叶う。人選は私情を交えず公平無私に行うこと。信頼をもって事に当たれば危機を乗り越えることができ、冒険も成功となる。

七 赤金星

有るべきものが整わず、困窮し一見進退窮まると思えるが、毅然と成ったことを喜べ

ば、災い転じて福となる。言い訳をせず一貫した姿勢を保てば吉が到来する。

やるべき目標をしつかり持つこと。足元をしつかり固め、むやみに動かないこと。言動を慎み謙虚に時を待つことである。強引に事を進めれば凶となる。

八 白土星

いよいよ高運期だが、慌てずことを進めよう。何かをしようと思えば取り除かねばならない障害や思わぬ邪魔が入る。断固とした態度で慎重に対処し処理すること。

九 紫火星

いよいよ高運期だが、慌てずことを進めよう。何かをしようと思えば取り除かねばならない障害や思わぬ邪魔が入る。断固とした態度で慎重に対処し処理すること。

しあわせ眼鏡

《青めるより》

拜めよ人の過ちを

おのれが身にも

罪やあるなん》

人生は想いと想いの世の中、

悪念は悪い結果を生み、

良い想いは幸福につながる。

毎日の生活の中に良い想いを

持って生きることが、幸福に

なる大切な生き方である

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3-10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。